Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：市村　清勝　　幹事：安部　弘行

イマジン ロータリー

地区目標　ロータリーに夢をもって行動しましょう！！

クラブテーマ　想像から行動へ～優しさ溢れる出会い（DEI）のクラブ～

◆点鐘：市村　清勝 会長　　◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ

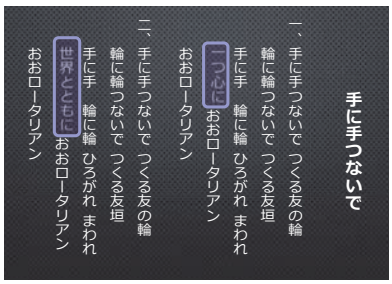
◆司会：遠藤　直樹 S.A.A.　　◆会場：山形グランドホテル

第2971回例会　　令和５年３月６日(月)

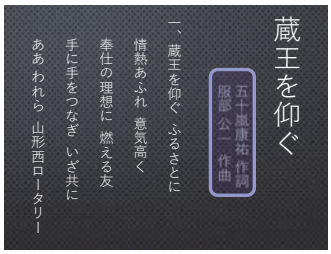
会長あいさつ　市村　清勝 会長

今日は、ロータリーソングのことをお話をしたいと思います。

「手に手つないで」。これを歌うものすごく最後に盛り上がりますし、とてもいい歌だなと思っております。私はこれが２番まであったということを知らなかったんです。１番目の歌詞と２番目の歌詞はここだけが違うんですね。「一つ心に」と「世界とともに」というところが違って、あとはみんな同じなんです。それを私、全然知らないで、同じ歌詞を2回歌うんだというふうにずっと思っておりました。



「手に手つないで」と「それでこそロータリー」というのは、東京ロータリークラブの矢野一郎さんという方が２つとも作詞・作曲をしているということだそうであります。この言葉と歌詞とを考えながら、歌詞も曲も１人で作っているみたいなのですが、それを考えるとやっぱりロータリーは仲良くしなきゃいけないんだと、人と人とのつながりが大事なんだということがすごく伺える２つの曲だなというふうに思っております。



それと、「蔵王を仰ぐ」であります。第１例会のときに国歌とともにこの「蔵王を仰ぐ」を歌うということになっております。これは五十嵐信君のお父さんであります五十嵐康祐さんが作詞をされて、服部公一さんが作曲をしたものです。36年前、西ロータリー 30周年記念に制定をされ、この60周年誌にも「蔵王を仰ぐ」の歌詞と作曲・作詞をした方がしっかりと出ておりますので、ご確認をいただければと思います。先日、五十嵐信君に連絡をしまして、どういう経緯で決まったんだという話を聞いたところ、歌詞については会員から募集をしたんだということを言われておりました。ほかのクラブにはない、歌詞も素晴らしいですし曲も素晴らしい作品であります。いつも１番だけで終わっていますけれども、できればたまには２番も歌っていただいて、皆さんで楽しんでいただけると大変ありがたいなと思っております。大切にしたい西クラブの宝だと私は感じております。

幹事報告　安部　弘行 幹事

●本日、中央クラブさんから30周年記念のPRに来ていただいております。石山会長、板垣実行委員長、あとでご挨拶の程お願いいたします。

●奨学生のハオくんが今日最後の挨拶に来ていただいております。一言、よろしくお願いします。

○ドアン・ミン・ハオくん／私はもともと人の前で話すことが苦手だったのですが、毎回毎回ここでトレーニングをして、少し改善できたなと思いました。先月も卒論発表会があって、すごい緊張があったのですが、その時頭の中に「これ、ロータリーの例会に負けるな」と思って、緊張感を抑えることができました。
今月、私は親を日本に来させることができそうです。ずっとずっと日本の留学期間中の夢でしたが、実現できそうです。皆さまのおかげで、やっと叶いました。本当にありがとうございました。この1年間、本当に皆さまからいろいろなことを得られて、みんなと出会えて本当に良かったです。どうもありがとうございました。

●米山より芦野茂さんへ功労者表彰が来ております。おめでとうございます。

●今月のロータリーレートは136円です。

委員会報告

職業奉仕委員会

次回の例会は12時からとなっております。12時まで会場にご集合をお願いいたします。山形市の山形ブランド推進課の高橋大様からご講演をいただきます。講演終了後、皆さまとお向かいのお建物、Q1（キューイチ）の建物にご移動いただきます。Q1の建物の中をご自由にご見学をいただいて解散という流れになります。また、このたびのQ1の建物のリノベーション事業に携わった当会員の愛和建設さんのアトリエがございます。こちら、スタッフの方が待機をして説明をいただけるという内容になっておりますので、ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております。

親睦・家族委員会

会員11名、奥様10名、３月に誕生日を迎えられます。
おめでとうございます。

山形中央RCよりご挨拶

石山　徳昭 さん

［山形中央ロータリークラブ会長］

山形中央ロータリーが今年度30周年を迎えますので、そちらのＰＲに来させていただきました。

日頃より山形中央ロータリークラブは市村山形西ロータリー会長、安部幹事はじめ皆さまからさまざまな面で大変お世話になっております。そして先月開催されました第５グループのＩＭ、主幹クラブとしまして大変ご準備にご苦労されたのではないかとお察しを申し上げます。久しぶりのＩＭ開催というにもかかわらず、大変内容の濃いＩＭを体験させていただきまして、本当に感謝を申し上げます。また、本日は例会の貴重なお時間を頂戴して私どもの30周年のＰＲをさせていただくということも合わせまして、重ねて感謝を申し上げます。ありがとうございます。

さて、山形中央ロータリークラブは、山形ロータリークラブ様、山形西ロータリークラブ様、山形北ロータリークラブ様、そして山形南ロータリークラブ様、そして山形東ロータリークラブ様、この市内の５つのクラブよりスポンサークラブとなっていただきまして、亡くなられた山形ロータリークラブ会員であられた後藤又兵衛特別代表のご指導の下、1993年３月21日に創立されました。このたび、めでたく30周年を迎える運びとなりました。現在、クラブ内では板垣喜代志30周年実行委員長の下、会員みなで、来たる５月20日土曜日に、記念式典ならびに祝賀会を開催すべく準備に余念がないところでございます。山形西ロータリークラブの皆さまには、時節柄大変お忙しい中とは存じますが、私どもの山形中央ロータリークラブ30周年記念式典ならびに祝賀会へのご出席のほど改めましてお願いを申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

板垣　喜代志 さん

［山形中央ロータリークラブ30周年実行委員長］

私からも一言皆さまにお願い申し上げます。５月20日、ホテルメトロポリタン山形にて30周年記念式典が開催されますが、わが30周年のテーマを「道」として、30年の歩みをみんなで語ろうということで計画しております。また、ゲストには柔道家の井上康生さんを呼んで、その柔道の道、あるいは人生の道についていろいろお話をいただいて盛り上げていこうということで企画しております。何卒皆さま多くの方よりご参加いただきまして30周年を祝っていただければ大変ありがたいなと思います。よろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

〈3月6日〉

市村清勝会長／赤塚さん、ようこそ西ロータリークラブへ
パワーあふれる赤塚委員長、ようこそいらっしゃいました。会員拡大に向けての今のやり方をじっくり聞かせていただきます。よろしくお願いいたします。

赤塚弘実さん／今日、卓話をさせていただきます。地区では最大の、最高のクラブで卓話をさせていただくことに感謝です。

遠藤靖彦さん／ようこそ
赤塚様、石山様、板垣様、山形西ロータリークラブの例会にようこそお越しいただきました。

坂部登さん／ようこそ赤塚くん
天童の星、赤塚さん。地区の委員長としての活躍を期待します。

遠藤正明さん／赤塚さんをお迎えして
縁戚に当たる赤塚さんをお迎えでき、大変嬉しく思います。会員増強のノウハウ、楽しみにしています。

芦野茂さん／赤塚委員長、大歓迎いたします
いつも地区委員会ではお世話になっております。本日の訪問、事前にお知らせいただいており、大変楽しみにしておりました。本日はよろしくお願いいたします。

武田岳彦さん／赤塚さんを歓迎して
ＰＴＡで大変お世話になった先輩の卓話を楽しみにしていました。本日はよろしくお願いいたします。

山形中央ロータリークラブ石山会長、板垣さん／30周年記念式典ＰＲに
本日はＰＲの時間をいただき、ありがとうございました。来たる５月20日、山形中央ロータリークラブの30周年記念式典を実施いたします。西クラブの皆さまのお越しをお待ちしております。

鈴木浩司さん／ＩＭ成功ありがとうございました
遅くなりましたが、２月18日のＩＭ、滞りなく終えることができました。会員の皆さまに感謝申し上げます。

結城和生さん／ＩＭの成功を祝って
蔵王の地蔵山視察から最初の戸惑いがあり、大きなウェーブに変わり、次世代へ向けた目標を描けるＩＭになりました。特にフレッシュな会員のご活躍が素晴らしく、お疲れ様でした。わがクラブしか成し得ないＩＭでした。

小林廣之さん／功労賞受賞
２月に開かれた山形東高体育ＯＢ会総会で体育部ＯＢ会功労賞をいただきました。あまり苦労したとは思えないのですが、これからもっと応援せよという意味でいただきました。ちなみに私は水泳部ＯＢです。

新藤幸紀さん／後期高齢者仲間入り
後期高齢者になりました。先輩会員の皆さま、よろしくお願いいたします。

ゲスト卓話

ロータリークラブに入ろう

赤塚　弘実 さん

［2022-2023年度 国際ロータリー
第2800地区 会員増強委員会委員長］

皆さんこんにちは。天童東ロータリークラブから参りました赤塚と申します。短い時間ですけれども地区の動き、会員増強のお話、そしてこれから何をしようかというお話をさせていただきますので、お付き合いをいただきたいと思います。

先般、地区事業であります、「ロータリークラブに入ろう」というテーマで田中久夫氏、高崎ロータリークラブでございますが、この講演会がありました。中で京都ロータリークラブの話が出ました。京都は京都ロータリークラブ、それから東西南北約200名ずつのクラブがあるそうであります。その中で京都南クラブが250名を超えるクラブだそうです。定員を掲げて、250人以上は入れないというクラブだそうであります。素晴らしいクラブだなあという話の中から、「ブランド力」という話が出ました。

ここ山形西クラブ、まさに山形県を代表するブランドをお持ちで、クラブに入ろう、入りたいという方がたくさんいらっしゃるということもさまざまな人から聞いているわけですが、私自身、ロータリーは自分を磨くところ、というふうに教わってきましたので、今日は山形西ロータリークラブからいいものを持ち帰りたいなという一心で足を運ばせていただきました。

さて私の職業でございますが、明治時代から続く製氷業であります。津山地区の人は誰でもご存じなのですが、ぽつんと３軒建っているところがありまして、その場所で天然氷を作った、という話であります。これは寒冷地特有とでもいいますか、今ほどの温暖化ではなくて、明治41年、今から115年前の話であります。水道はありません、電気もありません。その中でただ寒さだけを頼りに井戸水を撒くんですね。そして何層も何層もに作ったのを氷室というところに入れてやったのが初代。いい時もあれば下がった時もあり、どうにかこうにか115年を迎え、私で４代目であります。

製氷業はなかなか厳しいものであります。皆さんは氷をどこから買いますか？コンビニがありますし、氷屋さんから氷なんていうのは、なかなか買われない状況になりました。どこにでもあるんですから、氷。それが今から50年前は非常に貴重品として扱われた時代があるんです。熱を出した、魚を冷やす、スイカを冷やす。もう大変忙しい時代もありました。ところが、いわゆるそういう大きい氷を砕いて出すにはやっぱり大変な苦労もありますし、今や電気料金もすごく高くなって、非常に困難な時代を迎えましたけれども、そこで何をしたかであります。

ドライアイス、アイスクリームなどにはたくさんお世話になってきています。その他、いろいろ考えたのですが、困った時には原点に戻ろうということで、かき氷はどうだということで７年前からプレハブでかき氷屋をやって、大成功いたしました。非常にいろんなところから来ていただいております。、仙台の泉店、それから今年は駅前にも出します。昨年の10月には沖縄にも出させていただきました。前橋、これからは東京の銀座にも出したい、と夢は広がっています。「ふんわり五代目かき氷」と言って、今の私の息子がやっています。

さて、今日は会員増強の話です。今、地区ではどんなことを会員増強に力を入れているかというお話をさせていただいて、そしてこれからどんなことをしたいかという話を進めさせていただきたいな思っています。自慢話になろうかと思いますけれども、ご容赦をいただきたいと思います。

今、天童東ロータリークラブは56名の会員がいます。天童では一番多いクラブであります。多いのではなくて、入会を勧めたから多くなったんです。これは、正直申し上げまして、私、18名の会員を推薦し、入っていただきました。私は入会以来３年間半か４年、スリーピングメンバーでありました。そのとき、県のＰＴＡ会長をやっておりまして、会長の仕事がおもしろくて、そちらの方にのめりこんでしまっていました。小、中、そして県のＰＴＡという形で、さまざまとさせていただいて、ちょうど水曜日、その日が県庁に行く日なんですね。すごくおもしろくて、ロータリーの口も忘れたな、なんだか遠くにいったような気がするな、などと思っておりました。そんな時期に、ある先輩から「おまえ、おらほのクラブに入ってるけど、ちょっとダメだな、おまえ。退会すんの、どうだ、退会？」なんて言われる始末でもありました。これは私にとりましては非常にがっくり来まして、そこからロータリーの活動にも力を注ぐようになり、会員を推薦したりするようになりました。その先輩が亡くなる２週間前、私にこんなことを言ったんですね。「おまえ、大したもんだ。十何人も入れて」と。友だちから聞いた話で、「赤塚弘実を育てたい、だからああいうふうに言ったんだ」ということをあとで聞いて涙がこぼれてきたところであります。

もう1人の先輩、緑三郎さんという地区の委員長、地区幹事までした方です。私のことを見て「なんだ、おまえ。何しったの。来ねくてダメっだな」。彼は酒を飲めないのですが、飲めない酒を無理して私を居酒屋に誘って、滔々と言われました。とにかく出席だけはしろ。そんなこともあって、今振り返ってみるとその先輩の２人から学んだことがたくさんあるなというふうに思っております。

18名の入会、54名中３割を私が入れられたかというお話をします。やはり人間、出会いと感動だと私は思っています。いろんな人との出会い、市村さんとの出会い、さまざまな人との出会いがあって、人生はやはり続くもんだなと、振り返ってみるとその影響力がすごくあるなというふうに感じたのもその頃であります。それで８年前になります。私は会長になりました。その前の年、７名の方がお辞めになりました。体調不良もありましたし、あるいは転勤もありましたし、病気もありました。それからさまざまな理由で７名の方が辞めたわけで

すけれども、なんとかこれを阻止したいと。もう10名を切ると40名になっちゃうという状況でありました。これは困ったぞと。クラブを挙げて会員増強の話を毎回していました。会長挨拶では、必ず会員増強の話をしました。一体どうなってるんだ。あの人はどうだ。もう固有名詞をどんどん出しながらさせていただきました。

人間、がんばればできるものであります。その時８名の方に入会していただくことが出来ました。なんで８名もできたのかという話をさせていただきますが、やっぱり１つは会長の情熱だなと思っています。増強委員長に伝わり、幹事に伝わり、これが会員に伝わることなんだなというふうに思います。それで、その勧誘は誰と行くのか、いつ行くのか、何回行くのかということもみんなの前で話し合いました。それから、あそこの会社には何々さんという人がライオンズクラブにいると。ところが大きい会社なので、もしかしたらロータリーにも入ってもらえるかなということでお邪魔をしました。もっとはっきり言います。天童木工という会社があります。加藤会長はライオンズであります。それで、何回も行きました。３回目、４回目、５回目訪問に行ったあとに電話が来ました。「うちの専務を入れてください」。ああ、これはやっぱり粘りと根性だな、というふうに私は思いました。

それから、大切なのはやはり山形西クラブのように選ばれるクラブでないとダメだなというふうに思います。私、地区で回ったのが今日で20クラブ目なんです。７月１日現在で2800地区は1480名。女性は100名弱。その中には、13名や８名のクラブもありました。その中でやはり何が必要なのかというと、やっぱり会員増強でしょうという話をさせていただいており、今日は記念の20クラブ目になります。

魅力あるクラブ、一言ではなかなかできません。誰が魅力あるクラブにするのか。現会員であります。誰が選ばれるクラブにするのか。会長１人、ではなく、全員でするのです。それを考えてみると、ここの西クラブはうまくいってるんだなと私は直感いたしました。先輩が後輩をちゃんと指導しているし、見てくれる。後輩がしっかりと先輩方を支える。これがやっぱり一番の条件かなというふうに思っています。

なんで辞めてしまったのか、というのは、魅力なりが足りなかったというふうに思いますし、自分自身でも求めようとするものがなかったなという反省をしています。今日は皆さんバッヂ、ネームプレートをちゃんと着けていますが、わがクラブはあまり自由にしすぎて、ネームプレートもバッヂもしない人がいて、あるいは早退、遅刻がありました。それをやっぱり先輩方がしっかりと見て、教えていただいたのも、その辺もあったんだなというふうに今感じているところであります。

いろいろ今振り返ってみると、先輩は育てる、後輩はそれをしっかりと受け止めて例会に来る。やっぱり自分のその例会というのは人生の道場だな、自分を磨くところだなと改めて感じたところであります。私は入会して28年目になりますが、一時期、スリーピングをして分かったことってたくさんあるんです。だからどこのどんなクラブに行っても弱さといいますか、クラブのいいところ、悪いところというのがすごく見えてくるんですね。だからいいところはどんどん地区に行って、そこの地区のクラブでしか味わえないこともございますし、ましてやこの西クラブでも素晴らしい方を輩出してガバナー経験者もいるわけですので、どんどんと委員長を輩出していただいて、地区ではいったいどんな動きなのか、どういうふうにして豊かなクラブを作り上げるのかということをやはり考えていかないとダメなんだなというふうに思います。

2800地区以外のお話をします。私の友人の１人、ロータリーの会員であり、会社の社長さんであります。２年前、コロナのクラスターでその会社の30名中20数名がコロナに罹りました。従業員が30名ほどで20名休んでしまいますと、仕事を回すに回せません。どうしよう。今日の仕事ができない。１週間休まなければならない。もういろいろと大変です。企業というのは１人でも抜けると、それを補う人がいない会社は大変な状況が起きてしまう。そのような状況がなんとか終わって、振り返ってみて、その会員の方がおっしゃっていました。その大変なときに、ロータリーのメンバーから電話があったそうです。「何かお手伝いすることありませんか？」と。最後には「がんばって」という一言をいただいたそうです。その電話が一番心に残り、「ああ、ロータリーに入って良かった」と思った、というようなことがあったそうです。そういう話を聞いて、ロータリーってそういう人を入れなきゃならないんだな、そういう人を育てなければならないんだなというふうに感じたのも事実でありました。

私の大好きな方に京セラの社長、そして日本航空を再建した稲盛和夫さんという方がいらっしゃるのですが、その方の言葉で「若さの秘訣」と「発想の豊かさと好奇心」というワンフレーズで出したそうであります。皆さん、発想の豊かさ、好奇心、これは年齢だけではなくて人生そのものでがんばる一つの道筋ではないでしょうか。どれだけの好奇心を持つか、そしてこのロータリーで何を学ぶか、そしてそれをどう生かしていくのか。その稲盛さんの本を読んで勉強させていただきました。

来年はこの会員増強物語、私、3年間しなければならないということで、伊藤年度の時に会員増強物語の冊子を作ります。ぜひ西クラブの皆さんも原稿をお待ちしておりますので、ロータリークラブに入ってよかった、ロータリークラブでこんなことを学んだということを新入会員のバイブルにしたいと思いますので、ぜひよろしくお願いを申し上げまして、今日の卓話とさせていただきます。本日はありがとうございます。

本日出席（３／６）	会員総数	出席会員数
	99名	62名（Zoom参加７名含む）